



三浦市が進める海洋教育が盛んだ。子どもたちに海を好きになってもらうことなどを目的に、5年前から取り組んでいるものだが、「みうら学・海洋教育研究所」が昨年設立されたことでその動きは加速。小中学校には海に関する物品が配備され、水族館さながらに多彩な魚を飼育する小学校もある。



## 「海好き」三浦に育て

大学や高校、地元のNPOの協力も推進を後押し。今月に入ってから、中学校では煮干しを解剖する授業、小網代湾では4校の児童によるマダイやクロダイの稚魚放流が行われた。

自分の小中学校時代を振り返ると、横浜や鎌倉などで過ごしたが、授業では海とあまり縁がなかった。海に囲まれた土地ならではの教育が受けられる三浦の子どもたちをうらやましく思う。将来も海に携わる人材が育ってほしい。(鴻谷 創)